

いい声 いい顔 いい心

一息ついたら、自分のペースで次の準備を!!

指導簿やカレンダー等の提出ありがとうございました。夏季休業中とはいえ、7月はとも忙しかったことでしょう。そろそろ一息つけるころだと思います。しっかり鋭気を養われてください。一息ついたら、自分のペースで2学期の授業や学級経営の準備、校務分掌の整理等を進めておきましょう。優先順位でいけば、次のようなものが考えられます。



①2学期最初の3日間の準備（年度初めの「黄金の3日間」に対して「シルバーの3日間」と言ったりしますね。子供たちに何を話すのか、3日間の見通しをもつこと、係、掃除、給食当番、座席等の用意、掲示物の準備、配付物の準備等々）

②運動会の準備

③授業準備（少なくとも1、2單元くらいの教材研究、つけたい力を受けためあてとまとめの確認をしておく）と安心）

④通知表の記入（平常評価や特活の記入欄などできるところを進める）

⑤学習環境の整備（教室や廊下、昇降口の整理整頓）

⑥運動会以外の行事の準備（7割くらい進めておく）と余裕が持てます）

負担軽減につながるように、学年部や職員間で分担しながら行くといいですね。

その他、出席や提出物が気になる児童への電話や家庭訪問なども心がけてください。



全学調を生かす

全国学力・学習状況調査の結果が出ました。これまでの先生方のご指導ありがとうございました。

調査結果のポイントや、学習指導要領の内容別の主な特徴と指導改善のポイントが示されています。具体的な設問例も示されていますので、今後の取組に生かしてください。

6年や5年だけ頑張れば改善するものではありません。全学年で系統的に指導することが必要ですね。授業のどこで関連させるかは教師の腕の見せ所です。昨年度作成した山小アシストシート（昨年度の校内研のフォルダの中にデータあり）を活用されてもいいかもしれません。

次は県学調です!!頑張りますよう

～ティータイム～

「ジェネレーションギャップ」

山小は若い先生がたくさんおられる。フレッシュ感あふれ、それはそれは素晴らしい！元気をもらっている。そんな先生方とのギャップがあることも事実だ。

先日、井本先生が坂本先生のシールを作ろうとテプラを取りに事務室に来られていた。

井本先生：「テプラの説明書ありますか？使ったことないです。」

城：「ん～、ワープロと同じばい!!」（ローマ字入力でOKと伝えたかった）

相良先生：「先生、（若者に）ワープロって言っても分かんないですよ。」

猿渡先生：（うんうんと頷いておられる）

城：「え？ワープロって分かん？」

井本先生：「はい、ワープロって何かな～って…（思いました）」

城：「え？え？高木先生、知らん？」

高木先生：「はい、知りません。」

聞けば、相良先生がギリギリ分かる世代ということが判明!!自分も大学卒論で使っていた時代だから、そりゃ、井本先生や高木先生は知るはずもないよな～。その後、猿渡先生と、「ノートパソコンより重くて大きなワープロを使っていたこと」「感熱紙が日焼けして黒くなること」などワープロ談議に花を咲かせたのだった。その間、若手の先生はキョトン顔だったことは言うまでもない。



